

こども相談室だより

こんにちは。

4月に長野市こども未来部に「こども相談室」を開設し、こどもに関する様々な相談を受けています。ご存知ですか？
そして、このたび“こども相談室だより”を発行します。ぜひ、お読みください。

発行元

長野市こども未来部

こども相談室

TEL026-224-7849



幼児期は、一人ひとりの発達の違いが目立つ時です。保護者の方やご家族のみなさんは、日々成長を見守りながらも心配も多いものです。相談を受けていると、同じような悩みを持って戸惑っている方が多いと感じます。お子さんとの関わり方や発達などについてのおたよりを発行することで、少しでも安心して子育てをしていただけたらいいなと考えています。

こんな相談がありました

☆こどもの気持ちがわからない。

言葉数が少ないし、落ち着きがない。

こどもの行動にイライラしてしまい、

怒ってばかりです。



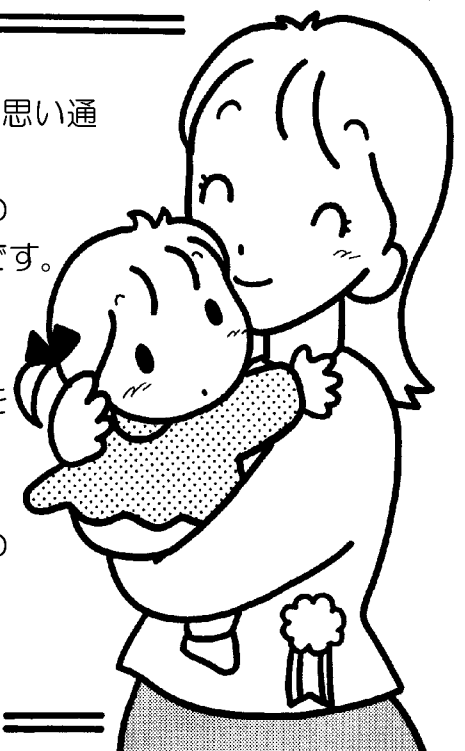
毎日の子育て大変ですね。“こども”ってなかなか大人の思い通りにいかないことが多いものです。

その子には、その子の「わけ」があります。幼児期は障害の有無に関わらず、自分の気持ちをうまく言葉に出せないものです。

「どうしたの？」と聞いても、しっかりした答えはまだ返ってこないことも多いです。

まずは、その子がどうしてそういう行動をするのか、状況を振り返りながらこどもの気持ちになって「行動の意味」を考えてみましょう。

その「わけ」がわかるとこどもの困ったこと、感じたことのも気持ちもわかり、対応もしやすくなりますね。



※ 裏面につづく





『ことば』の相談から

Q： 小学1年生ですが、ことばが聞き取りづらいので、友だちから指摘され、気にしています。どうすればいいのでしょうか？

- ことばについて考える時、耳の聞こえに注意が必要です。「えっ」「えっ」と何度か聞き返すことがありますか？ 小さな音（ささやき声）がきちんと聞こえていますか？

しんしゅつせいちゅうじえん
滲出性中耳炎が繰り返されると正しく音が伝わらないことがあります、実際とは少し違う音に聞こえてしまうことがあります。かぜが長引いたりすると、気づかぬうちに滲出性中耳炎になることがあるそうです。こどもは聞き取って獲得した音で発音します。聞こえに問題を感じたらまずは耳鼻科を受診してみましょう。

- お友だちには担任の先生にお願いして「はっきり正しい音が出るように練習している最中なので、心の中で応援しようね。」と学級指導をしていただきましょう。

- 支援について・・・音を出す方法や舌の位置を誤って定着させている場合は、その期間が長いほど改善が難しくなるので、専門機関に相談するのが良いと思います。市内の小学校4校（山王・三輪・通明・川中島）に「ことばの教室」があります。また、総合病院等を受診し、言語聴覚士に発声・発語器官を診ていただき、指導をしていただくという選択もあります。（就学前の場合は、保健所への相談も出来ます。）

Q： 年中児になったのですが「サ」行音が不明瞭で、赤ちゃんことばのように話しています。いつまで様子を見ていけばいいのでしょうか？



- 未熟音や赤ちゃんことばと言われる幼児音はもう少し様子を見ていても良いと思います。未熟音とは、その子がまだ成長の途中なので音を正しく獲得していないために、今現在、自分が出せる音に置き換えて出すことです。「サ」行音「ラ」行音「ツ」の音は完成時期が遅く、6歳半までに正音をまだ獲得していない子が1割程度いるようです。だんだん正しい音に近づいていきます。指摘せずに正しい音を数多く聞かせて正音の獲得を待ちましょう。

- 誤った舌の動きなどで、日本語にない歪ひずみおん音を出している場合もあります。年長児になっても改善しないようなら専門機関に相談しましょう。

※ 次回（不定期ですが）もお楽しみに。